
世紀末と新世紀

浅久 広央

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世紀末と新世紀

【Nコード】

N6720Y

【作者名】

浅久 広央

【あらすじ】

20世紀の終わりから、21世紀の初頭（現時刻まで）の出来事を書き殴った思考実験的文章。

実況見分録（仮）（前書き）

辻褄合わせしか存在しないのだ。

それが、真実。

現実には『つくれても』だ。

実況見分録（仮）

世紀末についての大予言

社会現象にまでなった新世紀を題材にしたアニメ

アングラカルチャーも、今は昔でカオスな日常

などなど、あの頃から15年後に当たる『この数年』

見事の中もしくは誘導？させていることに気づいたWWW

大予言は『世紀末』世界（地球？）滅亡』と一般的に訳されて僕らには馴染み深いものだろう

けれど、ご存知『世界は現存している』

が

しかし、『世紀末』は『一時代の終幕』はどうやら現実としてあったようだ

ここからは僕の実感且つ観察的視点によるあとづけ論

大予言は『世紀末』が訪れるといった

1999年と

しかし、99年以後は存在している

けれど、2001年の訪れとともに当然ながら

『世紀は20世紀から21世紀に変わった』

ここで、2011年現時点からこの10年を振り返ってみるよ

おもしろいことにいろいろと20世紀の常識が21世紀「2001年（99〜00年にかけて始まり）から大きく世界の流れが大きく変わっていることが見えてきた

日本で言えば、90年代までは『所謂一発当てれば一生食っていけた世紀』だった

例えば、シンガーソングライターになって100万枚のヒットを出せば

その後、印税生活が可能だった

小説家や諸々、著作物で継続的收入が得られるなど、安易に夢を見せてくれた存在がいた

しかし、00年代以降は『ネットで無料』が常識になり、表現者自体の意識も下がり

『才能の垂れ流し』が常識になり、一昔前なら『日の目を見る』こともなかったであろう作品が

クローズアップされ、企業に拾われるか、再生数ばかり増えて利益など得られないまま『無料』で評価され続ける才能を目の当たりに出来るようになった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6720y/>

世紀末と新世紀

2011年11月20日17時00分発行